

チームごっくんニューズレター

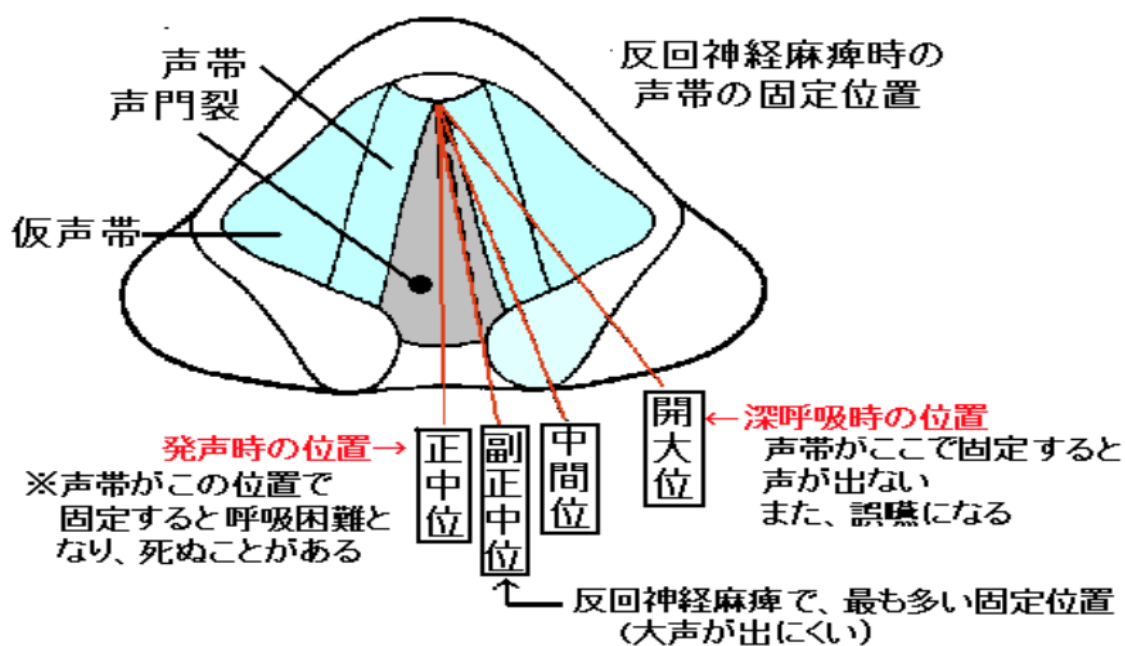
反回神経麻痺

反回神経麻痺とは

喉の奥にある声を出す左右の声帯を動かす反回神経の障害により、声帯の動きが悪くなり声がかすれたり、嚥下時にむせたりし、悪化すると誤嚥性肺炎や呼吸困難を呈する疾患です。

麻痺が起きる原因は明らかな原因がなくても起こる場合が最も多いですが、神経の走行に沿った臓器である甲状腺、食道、肺等の悪性腫瘍や心臓の術後に起こる場合もあります。

反回神経麻痺で声帯が麻痺をすると



医学的見地ブログ参照

治療法

保存的治療と外科的治療に分けられ、保存的治療では薬物療法、音声訓練治療で自然回復を待つのが基本で、改善しない場合や症状が高度の場合に外科的治療により声帯内注入術や甲状軟骨形成術などが行なわれます。

疾患別に診る嚥下障害参照